

令和5年度地域と市長のまちづくり懇談会 小沢校区

開催年度回次	令和5年度第1回	開催月日	4月15日	開催校区	小沢校区	開催場所	小沢校区市民館
議題				市の回答			
<p>1. 地域の過疎化・高齢化について</p> <p>(1)</p> <p>どこの地域も抱えている問題だと思うのですが、小沢校区でも若い世代の方が外へ出て行ってしまい、少なくなってきました。後継者がいなくなるなどの過疎状態が続き、お年寄りしかいないのが現状です。このような状況を阻止し、地方の集落を存続させるような案は考えているのでしょうか。</p> <p>若い世代が出ていくということは、公共交通やインフラ整備などもなく、市街化調整区域で規制があるなど不便が多いことからなのだと思いますが、何か打破する策はお持ちでしょうか。</p> <p>(2)</p> <p>小沢校区には、食料品店もコンビニもありません。あるのは自販機のみです。移動には自家用車が必要ですが、お年寄りが多くなってきており、車にも乗れない中で、買い物ができる場を用意するなど、買い物に行けなくて困っている人などへの支援などはありますでしょうか。</p>				<p>(1) 都市計画課</p> <p>市街化調整区域の既存集落においては、少子高齢化の進展により、地域コミュニティが衰退し、今後、後継者の確保や自治会の維持など様々な課題が発生することが想定されます。そのため、市街化調整区域においては、昨年度、調査・分析を行い、空き家の増加や一定の要件で建築された建物の建て替え制限、集落の大半を占める農業従事者の高齢化などの課題を整理しているところです。こうした課題を関係する部署で共有するとともに、課題に対する取り組みを、他都市の事例や、国の動向を参考にし、必要に応じて地域の声を聞きながら検討していきたいと考えています。</p> <p>市街化調整区域は、市街化を抑制し、農地や自然を守る区域となっています。現在、この地域には、コミュニティバスの愛のりくんを運行していますが、地域の方に乗っていただくことで、公共交通の維持が図られており、今後も運営団体とともに利用促進に努めていくほか、道路などのインフラについて適切な保全に努めることで、地域集落の生活圏を維持したいと考えております。</p> <p>(2) 長寿介護課</p> <p>本市の買い物支援としましては、要介護認定のある方や介護予防・日常生活支援総合事業対象者であれば、介護保険制度によるヘルパーの利用が可能です。それ以外の方であっても、シルバー人材センターが提供するちよこつとサービス(高齢者生活支援サービス)のほか、スーパーが実施する宅配サービスや移動販売車など、状況に応じてサービスをご利用いただくことが可能です。</p> <p>また、先ほど都市計画課からお話のありましたコミュニティバスの愛のりくんでは、4店舗のスーパーが乗り場となっていますので、ぜひご利用ください。</p>			

開催年度回次	令和5年度第1回	開催月日	4月15日	開催校区	小沢校区	開催場所	小沢校区市民館
議題				市の回答			
<p>2. 23号線バイパス本線「小松原IC」から西側の4車線化整備について</p> <p>過去に23号バイパス本線内で発生した事故(2回)により、小松原町管内を車が迂回することで、周辺道路においても事故及び渋滞が発生しました。さらに児童の下校時刻とも重なっていたため、苦情の連絡が町および校区にも入りました。これ以上のトラブルを防ぐためにも、早急に4車線化の整備を進めてほしいです。</p>				<p>道路建設課</p> <p>国道23号バイパス(名豊道路)の4車線化については、本市として強く望んでいることであるとともに、本市長が名豊道路建設推進協議会の会長であることから、関係自治体とともに事業主体である国(中部地方整備局、国土交通省)に対して事業推進の要望活動を毎年行っております。</p> <p>今回いただいている地元からの声を国へ届けるとともに、引き続き、国に対して積極的に要望活動を行い、1日でも早い4車線化の実現に向けて事業推進を図ってまいります。</p>			